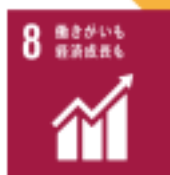




Fw: 東北 Fan Meeting

福島からはじまる 「働き方改革」

コトづくりを通して若者が集まる農業へ



参加費
無料

定員
30名

主催
復興庁



イラストテーマ：地域における働き方、働きがい

日時

2019

6/27 (木)

19:00～21:00

場所

3331 Arts Chiyoda

東京都千代田区外神田6丁目11-14

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

<http://bit.ly/2Xf56OM>



◆ Fw:東北 ホームページ

<https://www.fwtohoku.com>



◆ フェイスブックページ

@fwtohoku



【最寄り駅】

- ◆ 東京メトロ銀座線 末広町駅 4番出口 徒歩1分
- ◆ 東京メトロ千代田線 湯島駅 6番出口 徒歩3分
- ◆ 都営大江戸線 上野御徒町駅 A1番出口 徒歩6分
- ◆ JR 御徒町駅 南口 徒歩7分

福島からはじまる「働き方改革」

日時 2019.6.27(木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 3331 Arts Chiyoda



企画趣旨

今回は、震災以前から抱えている働き手問題に対して「コトづくり」で解決に挑戦する大野農園とねっかにスポットを当てます。

石川町の大野氏は震災をきっかけにUターン。家業を引き継ぐと同時に農業法人化を進め、家業である果物栽培に加えて、加工品ブランドである「オラゲーノ」の立上げやアパレルメーカーとコラボした商品開発など新しい事業を展開。中でも特徴的なのが、年間2000人を惹きつける農園イベント。剪定後の枝拾いや受粉作業などをイベント化することで、人手不足の問題にアプローチしています。

只見町の脇坂氏は、積雪3mの豪雪地帯で、地域資源である「米」を活かすために、米農家を中心に5名で2017年米焼酎「ねっか」を開発。福島県初となる「特産品しょうちゅう」免許を取得し、原料の米づくりからお酒づくりまで一貫して事業を行なっています。豪雪地帯特有の通年雇用の難しい只見の課題にアプローチすべく雇用創出に挑戦しています。

福島県では、震災後、避難地域の営農休止や風評被害による販売単価の下落の影響で農業産出額が約79%に減少。販売単価は風評被害による下落から完全に回復していませんが、8年にわたる取り組みによって農業産出額は震災以前の90%まで回復しました。

さらなる回復に向けて、農業全体が抱えている担い手不足・高齢化の課題に対してどのように取り組んでいくか、福島県の2社の事例を元に考えます。

登壇者 ※順不同/敬称略

- ◆ 大野 栄峰 (大野農園株式会社 代表取締役)
- ◆ 脇坂 齊弘 (合同会社ねっか 代表社員)

こんな方にオススメ！

- ・農業や六次化に興味のある方
- ・地域資源の活用した新事業創出に興味のある方
- ・東北との新しいかわり方に関心のある方
- ・その他、本イベントに関心のある方 等

プログラム(予定)

19:00	開会メッセージ/趣旨説明
19:05	インプットトーク 「イベントによる担い手不足の解決への挑戦(仮)」 大野農園株式会社 大野 栄峰 氏
19:25	インプットトーク 「酒造りを通じた豪雪地帯の雇用問題への挑戦(仮)」 合同会社ねっか 脇坂 齊弘 氏
19:55	テーブルダイアログ 「農業の担い手の未来を考える。 農業への多様な関わりを探す(仮)」
20:35	登壇者コメント
20:45	Fw:東北活動紹介
20:50	閉会メッセージ/集合写真撮影
20:55	交流タイム(~21:00)

Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、復興庁、「新しい東北」官民連携推進協議会による、「Fw:東北」の取組、プロジェクトを紹介し、東北で様々なテーマを掲げて行われている活動や、それらに取り組む人々にフォーカスを当て、認知向上や共創の輪を広げる活動として、各種イベントを、東京や東北各地で多数展開(年間23本程度を予定)します。